

平成28年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福法人光風会	代表者	阿部與士男	法人・事業所の 特徴	法人として多様なサービスを提供しており、当事業所は、ご利用者様が住み慣れた地域、自宅で可能な限り暮らし続けられるような生活の支援を目的として、通い、宿泊、訪問サービスを柔軟に組み合わせるサービスを提供します。
事業所名	小規模多機能ふよう	管理者	遠田美邦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	1 人	人	人	1 人	人	4 人	人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	過剰な介護をしないように、職員会議で利用者の状態把握、ケアの確認をしていく。	カンファレンスや毎月の職員会議で確認、情報を交換、伝達を行いケアの提供に活かした。	自立に向けて過剰な介護とならないよう、本人の持てる能力を引き出せるようなケアのあり方を職員間で共通認識できれば、より利用者様の為になると思われます。職員業務を優先にして、時間をかけて支援出来ない時があった。	毎月の職員会議で利用者の自立支援の目標に向っての支援体制、状態確認をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	気持ちよく来所、利用出来るように玄関の照明調整、内外の整理整頓を行い、窓も工夫する。また、職員も明るく元気に出迎えをする。	玄関の照明調整、内外の整理整頓を行い、窓も工夫した。また、職員も明るく元気に出迎えをして、職員各自で「おもてなしの心」について目標を立て実施した。	事業所の職員がよい空間を作る努力をしても、運営推進会議で出席する職員が、会議の引継ぎの間にその場に合わせた対応をしない事があり会議の参加意欲低下と居心地の良さを軽減に繋がると考える。また、事務所にいる職員の中で無愛想な方や慣れなれしく対応する職員(タメロ等)、職員同士で「ちゃん」付けで呼んだりしている。 ・入り口が出る際は、自動ドアが開かない状態になっている。	接遇についての研修を継続し、挨拶、言葉使い、接する姿勢等、定期的に確認、見直しをする。
C. 事業所と地域のかかわり	当事業所のイベント開催は継続し、他開催の情報も収集し参加を増やし、交流する機会を作る。また、ふようの季刊誌の内容を再検討し、回覧し情報発信していく。	10月1日にふようまつりを行い、健康相談コーナーも設け、昨年より地域の方の参加多く、交流できた。また、ふようの季刊誌も毎回内容を変えたり、看護師からの情報発信をしたり工夫した。	・会議に出席する職員で、タメロや職員間で「～ちゃん」とあだ名のような感じで話をしたりと、あまり雰囲気がよくない時がある。	接遇についての研修を継続する。また、当事業所イベント開催は継続し、他開催の情報も収集し参加を増やし、外に出て交流の機会を作る。また、ふようの季刊誌は継続し情報発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事には継続して参加する。また、利用者の地域の民生委員を把握し、必要時連絡を行い暮らしを支えていく。	事業所のある地域の行事や、学校、コミュニティセンターの行事には参加して関わりをもち交流ができた刺激になった。また、利用者の地域の民生委員を把握し、必要時には連絡した。	・町内の民生委員は不在ですが、その中でどのように民生委員を把握したのか。	地域資源について理解を深め、地域行事には継続して参加し、外に出て交流する機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	自治会長、地域包括支援センターの職員より地域の情報提供をもらい、事例検討をする機会をつくる。	運営会議時に情報提供をしてもらったり、意見を頂いたりしているが、積極的な事例検討をする機会ではできなかった。	・今年度、事例検討を進める話や相談はなかったのですが……。取り組んだ様子は感じられませんでした。昨年も意見を出しましたが、会議の内容がスライドを使用した行事説明である。(毎回同じ)会議というより行事報告で全く改善が見られない。 ・地域の方についてどこまで情報を提供してよいのか個人情報等もあり、事例検討は難しいのでは。	運営推進会議で事業所の活動内容、利用状況、情報提供等の説明の内容の見直しをする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難場所、連絡方法を明確にし、避難訓練の報告も兼ね運営推進会議で伝え、確認する。	火災、地震、津波想定避難訓練、夜間避難訓練を実施し避難方法、避難場所、連絡方法を確認し、地域の消防団や住民から参加してもらったおとで、新たな課題や、協働の確認ができた。また運営推進会議で報告し情報を伝えた。	地域の消防団から防災訓練に従事してもらったことで課題が見え、今後の訓練に活かされると思いました。地域の資源と繋がることは大事ですね。	継続して訓練を行い、事業所の避難訓練に、地域住民、消防団員に参加してもらえようように情報発信し、地域との連携に努める。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6人	5人		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	7人	4人		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	7人	4人		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	6人	5人		

できている点

利用前に事前アセスメントを実施して状況把握を行い、サービス内容、情報、ニーズについて職員に申し送りを行い情報の共有ができています。本人には利用時に環境に慣れてもらえるように、状況をみながら声掛けを行い、家族には、利用時、送迎時、面会時等、その都度声を掛け確認を行い、不安解消に繋げている。また、連絡帳もあるので、利用中の状況を家族に伝え、家族からは家での様子を記載してもらうことで、状況把握ができ迅速な対応ができています。ミーティングについては、必要時随時行っている他に毎月職員会議で情報共有ができています。

できていない点

--

次回までの具体的な改善計画

--

スタッフ個別評価・様式

実施日	平成 28 年 9 月 13 日
-----	------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

氏名	管理者、計画作成担当者、 ケアワーカー、看護師
----	----------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	自立に向けて過剰な介護とならないように、職員会議で利用者の状態把握、確認を行いケアの提供をしていく。
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	4人		

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	5人	5人	1人	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	4人	6人	1人	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4人	6人	1人	
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	6人	5人		

できている点	介護支援専門員や担当職員を中心にアセスメントを作成時に、本人、家族の意向を細かく聞いて、「～したい」事を把握し、ケアプランに反映させている。また、カンファレンスや毎月の職員会議で確認を行い、情報を伝達、交換し、見直しや対応に活かしている。
--------	---

できていない点	目標について支援をしているが、職員の業務を優先にして時間をかけて支援できないこともあった。また目標を個別ファイルに綴じ、常に目を通してチェックして把握していると思っているが、利用者全員の全ての内容と言われると自信のない職員もいた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	利用者の支援を行い目標に向かって実施できるように、職員会議や随時業務の見直しを行っていく。また、ケアプランの目標確認を毎月行い、職員間で確認して把握していく。
---------------	---

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

3. 日常生活の支援

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	自立に向けて過剰な介護とならないように、職員会議で利用者の状態把握、確認を行いケアの提供をしていく。
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	4人		

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		9人	2人	
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7人	4人		
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2人	8人	1人	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	9人	2人		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	7人	4人		

できている点	本人の生活環境については事前のアセスメントや利用時に本人に話を聞いたり把握できている。また、本人の状態に合わせて、その都度対応し、変化があった場合は口頭、対応記録に記載、連絡ノートで申し送りをしたりと情報を共有し、適切に対応、支援ができている。本人の気持ちや体調の変化に対しては気づきの目をもって接して随時のミーティングで共有し、即時に対応をしている。
--------	--

できていない点	生活環境については、生活状況は大体は把握できているが、細かいところは不明なことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	得た情報については、カンファレンスや職員会議で伝達し、生活や目標への支援をする。
---------------	--

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

4. 地域での暮らしの支援

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	地域行事には継続して参加する。また、利用者の地域の民生委員を把握し、必要時連絡を行い暮らしを支えていく。
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
⑥	前回の課題について取り組みましたか？	1人	10人		

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1人	8人	2人	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3人	8人		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	9人	1人	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		6人	5人	

できている点	本人、家族より話を聞いて、生活スタイル、人間関係、利用日以外での自宅での過ごし方や地域との関わりの情報を得ている。また、本人と家族との関係については、双方の気持ち、状況を把握し伝え関係が継続するように事業所からも連絡を行い、適切に支援している。
--------	--

できていない点	民生委員は把握しているが、地域の資源については利用している状況に合わせ必要としている利用者が少ない為、把握できていないところがある。また、職員が地域資源の理解ができていないところもある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	地域資源を知り、どのように利用者の暮らしに活用、関わりがあるのかを研修していく。
---------------	--

スタッフ個別評価・様式

実施日	平成 28 年 9 月 13 日
-----	------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名	管理者、計画作成担当者、 ケアワーカー、看護師
----	----------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人	7人	2人	
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9人	2人		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	9人	2人		
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10人	1人		

できている点	
希望、状況に合わせて臨機応変、柔軟に対応し、サービス内容、時間の提供ができています。また、日々の関わりから対応記録にも記載し、変化、気づきを共有するとともに、月1回の職員会議でも再確認ができています。	

できていない点	
地域の資源については、本人、家族から聞き取り、必要などころは部分的には活用しているが、本人の状況や関わり方もあり、難しいところもある。また、職員が地域資源の理解ができていないところもある。	

次回までの具体的な改善計画	
地域資源の理解を深め、どのように利用者の暮らしに活用、関わりがあるのかを研修し、活用できる利用者には個別プランに取り入れて支援していく。	

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

6. 連携・協働

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
当事業所のイベント開催は継続し、他開催の情報も収集し参加を増やし交流する機会を作る。また、ふよの季刊誌の内容を再検討し、回覧して情報発信していく。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
⑥	前回の課題について取り組みましたか？	5人	5人	1人	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	3人	8人	2人	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人	7人	2人	
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	4人	5人	2人	
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3人	6人	2人

できている点
事業所のある地域の行事、学校、コミュニティーセンターの行事に参加し、関わりをもち刺激になっている。医療機関とは受診時や随時連絡を行い、病院からの退院時や他事業所とは随時担当者会議を行っている。また、地域包括支援センターより地域個別ケア会議を開催してもらい、民生委員、市職員を含めて会議を行い連携を取っている。登録者以外については、地域にふよだよりやお知らせを回覧し企画した行事に地域の方が参加してくれた。

できていない点
会議等への参加内容が限られている。ふよが企画した行事には地域の方が参加してくれるが、個々に訪れる人はいない。

次回までの具体的な改善計画
季刊誌を中心にふよについてアピールして理解、認識をもらう。また、地域共生事業を計画し、参加して理解してもらえるようにする。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

7. 運営

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
自治会長、地域包括支援センターの職員より地域の情報提供をもらい、事例検討をする機会をつくる。避難場所、連絡方法を明確にして、避難訓練の報告も兼ね運営推進会議で伝え、確認する。	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		7人	4人	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2人	9人		
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6人	5人		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	7人	1人	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		6人	5人	

できている点
毎月職員会議を行い、職員の意見を発言できる機会を設け、その都度見直し改善、確認ができています。本人、家族からの意見があった際には迅速に対応ができています。また、2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、市役所職員、地域包括支援センター職員、自治会長より意見を聞き反映するように取り組んでおり、地域と協働する為に、9月に地域住民、消防団から参加してもらい避難訓練を実施予定、10月には地域共生事業として毎年恒例の「ふようまつり」を開催予定である。

できていない点
地域との協働する為の取り組みは行っているが、まだまだ不足などもあり、事業所の理解、認識が薄い。また、事業所からの情報提供が殆どで地域からの情報を得て事例検討もしていきたいが、できていない。

次回までの具体的な改善計画
地域住民、消防団の方に避難訓練への参加していただけるよう機会を作り、連携に努める。また、運営推進会議を活用し、情報交換を行い協働をできるようにしていく。

スタッフ個別評価・様式

実施日	平成 28 年 9 月 13 日
-----	------------------

8. 質を向上するための取組み

氏名	管理者、計画作成担当者、 ケアワーカー、看護師
----	----------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	自立に向けて過剰な介護とならないように、職員会議で利用者の状態把握、確認を行いケアの提供をしていく。
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
⑥	前回の課題について取り組めましたか？	10人	1人		

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9人	2人		
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9人	2人		
③	地域連絡会に参加していますか				11人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7人	4人		

できている点	職場内の研修は毎月行っており、内容については、年間で決めた項目の他に、職員から研修希望の意向を取り多かった項目や状況に合わせ必要な内容を行い、法人グループの研修会にも参加している。また、職場外の研修も随時参加し、職員の質の向上に繋げている。リスクマネジメントについては、ヒヤリハットや事故報告から要因分析を行い、危機意識をもち迅速に対応し同じ事を繰り返さないようしている。
--------	--

できていない点	参加する地域連絡会議がない。
---------	----------------

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 28 年 9 月 13 日

9. 人権・プライバシー

氏名 管理者、計画作成担当者、
ケアワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	身体拘束をしていない	11人			
②	虐待は行われていない	9人	2人		
③	プライバシーが守られている	9人	2人		
④	必要な方に成年後見制度を活用している				11人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11人			

できている点	身体拘束、虐待については研修を行い、理解、確認を行っている為、行われていない。また、成年後見人制度については研修をして理解する機会を作っている。プライバシーや個人情報についても、他利用者から聞かれても教えられないことを伝えたり、職員会議で注意、確認していることで守られ、管理もできている。
--------	--

できていない点	現在、成年後見人制度を利用している利用者がいない。
---------	---------------------------

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--